

八潮市新庁舎建設工事基本設計・実施設計業務委託
に関する公募型プロポーザル実施結果について

令和元年 7月

八潮市

市では、八潮市新庁舎建設工事基本設計・実施設計業務委託に関する公募型プロポーザルを実施するに当たり、八潮市新庁舎建設工事設計者選定委員会（以下「選定委員会」という。）を設置し、参加表明書等及び技術提案書等の評価及び審査を実施しました。この結果、まちづくりの考え方や地域特性および周辺環境との調和等を十分に理解し、創造性、柔軟に対応できる高い技術力や設計能力及び豊富な経験等を有する設計者として、次のとおり最優秀提案者及び次点提案者を特定しました。

1 最優秀提案者及び次点提案者

最優秀提案者 B社 株式会社石本建築事務所

次点提案者 A社 株式会社安井建築設計事務所

2 プロポーザル実施経緯

平成31年4月10日	参加表明書等の提出期限
平成31年4月11日	第1回選定委員会（一次審査）
平成31年4月15日	選定・非選定通知書の送付
令和 元年6月12日	技術提案書等の提出期限
令和 元年6月30日	第2回選定委員会（プレゼンテーション、ヒアリング二次審査）
令和 元年7月 4日	特定・非特定通知書の送付

3 選定委員会委員

役職	氏名	職名等
委員長	作山 康	芝浦工業大学システム理工学部環境システム学科教授
副委員長	古庄 正登	八潮市商工会会長
委員	福島 秀哉	東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻助教
委員	山田 あすか	東京電機大学未来科学部建築学科教授
委員	會田 喜一郎	八潮市総務部長
委員	香山 庸子	八潮市健康福祉部長
委員	中村 史朗	八潮市都市デザイン部長
委員	前田 秀明	八潮市企画財政部長

※区分ごと、五十音順

4 審査講評

選定委員会における一次審査及び二次審査の結果は、次のとおりであった。

(1) 一次審査

一次審査では、6者の提出者から参加表明書等の提出書類を受け、別に定める評価方法及び評価基準に基づき、設計事務所の技術職員数、有資格者数、同種・類似業務の実績、受賞実績の評価並びに配置技術者の資格及び技術力の評価を行った結果、技術提案書等の提出を要請する者として6者を選定した。

(2) 二次審査

二次審査では、一次審査で選定された6者から技術提案書等の提出書類を受け、公開によるプレゼンテーション及びヒアリングを実施したうえで、選定委員会において評価を行った。評価項目としては、業務の理解度及び取組意欲のほか、業務の実施方針、4つの評価テーマに対する技術提案に対し、的確性、独創性、実現性及び地域性の観点から総合的に評価を行った。

(3) 講評

はじめに、八潮市新庁舎建設工事基本設計・実施設計業務委託に関する提案は、各者とも素晴らしいものでした。最優秀提案者、次点提案者の特定にあたっては、今回設計案を選ぶコンペ方式ではなく、設計者を選ぶプロポーザル方式によるもので、技術的な側面は各者とも満たされていることから、特に基本構想・基本計画を的確に踏まえ、将来にわたってのシビックセンターとしての役割を一緒に考えていける設計者を選ぶことを重視しました。

最優秀提案者となった株式会社石本建築事務所の提案は、業務の取組意欲及び理解度、業務の実施方針、各テーマとも高い評価が得られ、特に独創性の項目について高く評価されました。また、コンセプトの設定が上手く、何のために市庁舎を建てるのかを市民と共有するビジョンに深い理解が示されました。この地域を基軸にどのようにまちづくりをしていくのか、どのように人の集まりをデザインし、演出していくのかについての明確な提案がありました。また、建築的にも庁舎建築としては他に類を見ない、非常に魅力を感じるものであり、市庁舎のなかでの人々の活動が、建築物の表情としてデザインされていることなどは、市のアイデンティティの形成にも寄与することが強く期待されます。

この庁舎は、この先50年、100年の永きに渡って市民と歩みを共にする建物として、計画をしています。例えばこの先50年の間に市がどのように変化していくかを考えますと、多様な可能性に対応するため、建物として魅力的であること、また環境性能として基本的な性能を満たしていることが非常に重要です。広い面積を占める執務室には東側・南側から採光を取ることができ、将来的な用途転用の想定に対して、段階的に対応できることと多様な用途への転用が可能な動線と性能を有する計画であることが高く評価されました。

こうした50年後の八潮市庁舎の将来に関する質問に明確に回答した提案者であり、未来に責任を持って八潮の顔となる庁舎を一緒につくっていただける設計者であるとして最優秀提案者に特定されました。

また、次点提案者となった株式会社安井建築設計事務所の提案は、業務の実施方針、テーマ1「シビックセンター形成に向けた場の創出」について、特に実現性の指標において高く評価されました。他に、テーマ2「効率的な配置」及び3「将来的な変化を見据えた庁舎」については独創性、テーマ4「周辺環境への影響や各種コストを考慮した建築計画」については的確性が高く評価されました。各テーマとも地域性、すなわち八潮らしさがさらに深まるような提案が聞かれるとより良かったと感じました。

審査の中では、配置計画について、色々な可能性を含み、保健センターと市庁舎の作り方を空間として捉えている点や、災害時の対応の考え方などがよく示されている点が高く評価されました。

また、南面に提案する“やしおテラス”部分に保健センターに訪れる子ども連れの方などが集まり賑わいにつながるよう提案されている点も魅力的であることが評価されました。一方で、人が集まることを大切にするというコンセプトでしたが、人が集まるための建築的な要素や仕掛けについての具体的な考えが聞かれず、「場所を作れば人が集まる」といった考え方に感じられました。やしおテラスの店舗部分とされた場所がテナントによって埋まらなかった場合の対応など一歩踏み込んだ質問に対しては、民間提案に依存したものではなく、設計者としての考えをお聞きしたいと感じました。

八潮市新庁舎建設工事設計者選定委員会
委員長 作 山 康

最後に、本プロポーザルに参加された提案者の皆様、選定委員会委員の皆様に、八潮市の新庁舎整備に関心をお寄せいただきましたこと、貴重な時間と見識をもって多様なご提案や議論をいただきましたことに心より感謝申し上げます。